

MCR 学級 防災講座報告

1 目 的

- ・MCR 学級生が防災施設の展示や体験から防災意識を高め、家庭でも備えていこうとする態度を養う。
- ・学級生が見学や体験を通して交流を深め、MCR 学級の活性化を図る。

2 日時・場所・参加人数

1月31日（金）10：00～12：00 千葉県西部防災センター
当日参加者 15名

3 内 容

（1）開会

主催者挨拶 関根社会教育課長

（2）映像の視聴・オリエンテーション 10：15～

・体験 10：40～

風雨体験～心肺蘇生・AED～119番通報

体験～火災の消火体験～煙道避難体験

（3）質疑応答・アンケート記入

（4）閉会

4 概要

小学校家庭教育学級・MCR 学級生15名参加。

今回は、松戸市松戸にある千葉県西部防災センターの見学、体験により、防災意識を高めることをねらいとして開催されました。

阪神淡路大震災、東日本大震災、そして昨年元旦早々に起こった石川県能登半島地震。地震大国日本はこの半世紀に大きな震災に見舞われています。また、気候変動が起因ともされる気候変動。大雨や酷暑などの自然災害に対してどう対応していけばよいのかを考えるきっかけとなり、日頃からどのような準備をすればよいのかを考える良い機会として、なかなか準備や対応対応について心得ていない状況にも警鐘を鳴らすいい機会となりました。

たくさんの体験からの学びとともに震災時の実際の津波の高さを感じたり、3日間家庭に備蓄すべき食品などの量を目の当たりにしたりすることで「それぞれわかってはいたんだけど…」という声が聞かれながらもたくさんのことが学べ、一緒に体験する中で共通認識ができ、学級生間でのコミュニケーションも高まりました。

5 参加者の主な感想

・座学だけでなく、実体験できたことはとても良かった。特に風水害、台風や暴風雨時に避難するか否か、そもそも外に出ることができるのか、身をもって体験して、前もって天気予報で情報確認しようと思えました。

・心構えが出来ていなかったと思った。自分の考えがまだ甘い事に改めて気づかされた。



・消火器や防災グッズ、転倒防止グッズを改めて確認しようと思いました。以前胸骨圧迫の体験をしましたが、1年に1度くらいは改めて体験したほうがよいと感じました。

・動く事、家族で考える事、話す事が大事だと思った。ちょっとした工夫でできることもわかった。

